

この本はナヴェイア、ヴィク、クエンティン、マーラの4人のアメリカ・ロサンゼルスの子のお話です。

なぜこの本を選んだかというと、だからです。

私は里子 / 里親制度 について あまり知りませんでした / まったく知りませんでした / とても興味を持ちました /

今回初めて知りました / はじめて知ることがたくさんありました / 自分とは違う世界の話だと感じました。

今、私たちの生活の中で「里親制度」について考える機会は だと思えます。

「里親制度」についての第一印象は です。

この本に出てくる ナヴェイア / ヴィク / クエンティン / マーラ についてのお話 / 生き立ちは、

なところが

悲しかった / おどろきました / 興味を持ちました / 残酷だと思いました / 共感できました / 理解できなかった。

私はこの本の中で一番 恐ろしく感じた / 残酷だと思った / 怒りを感じた / 自分には耐えられないと思った

こと / 場面 / 言葉 は、 です。

という点 / ところが

と感じました / 思いました。

もし私が ナヴェイア / ヴィク / クエンティン / マーラなら、

だと思いました。

私は登場人物の中で、○○○○○が（一番）共感できました / 気に入りました / 自分に似ていると思いました。

なぜなら だからです。

でも、 なところは 少し苦手です / 理解できません / 私とは違うなと思いました。

登場人物の中で一番 苦手な / 嫌いな / ひどいと思った人は、○○○○○です。なぜなら、

だからです。

私は一番 好きな / ドキドキした / ひきこまれた / 感動した 場面は

で、 共感できました / 好きになりました / スカッとした / 印象的だった / ジーンとしました。

なぜなら だからです。

私がナヴェイア / ヴィク の 行動 / 考え方 / 言ったこと で 共感した / すごいと思った / 好きな ことは、

です。

というところが、好きです / 共感できた / 尊敬できました。

□4人が（クエンティンのお母さんに会うために）冒険をするとき、私は

と思いました/考えました/心配しました。

もし私がこの計画/冒険を実行/参加することになったら、

と感しました/思いました。

□そして、4人が観覧車に乗った/ビーチに行った/事故にあった/倒れたとき、私は

と思いました/考えました/心配しました。

□この物語は本当にあった話ではないけれど、たくさんの里子がいることやナヴェイア/ヴィクたちのように  
たくさんの里親のもとを転々とする子がいることは、事実/本当のことです。私は、

だと思いました/だと感しました。

□私はナヴェイアの言葉「だれも助けてくれないなら、自分で自分を助けるしかない」という言葉を読んで、

【ピンチのときに誰も助けてくれなかった体験/つらい・大変なことを自力で切り抜けた体験】

①状況の説明：いつ・どこで・だれが/だれに ②行動：きっかけ/理由・何を・どうした・どのように/

どのくらい・なぜ/どうして ③状況/心の変化：どうなったのか、どう思ったのか、何が変わったか

ということがありました。そのこと/体験から、(いつでも自分を守れるようにしよう/自分がしっかりして

いないとダメ/誰かに頼ろうと甘えた気持では乗り切れない/どんなにつらいことでも自分はできる!と信じる/

だと思いました/という気持ちがわかりました。

なぜなら、

だからです。

□ボランティアでロサンゼルスの子親制度を支援している作者（作者あとがきより）だからこそ、実際の里子  
たちの体験/話をもとにした物語が書けたのだと思います。今まで里子/里親制度を身近に実感することが  
できなかった私たちも、身近に/現実的に/興味を持って/自分におきかえて感じる事ができたと思います。

□私はこの本を読むことで、里子たちのつらさ・直面する現実/里親制度の現状や問題点を、

実際の問題として/身近に/自分のことのように考える機会になったと思います。そのこと（里子の状況・現実）  
を考える/想像すると、

だと思いました/だと感しました。

□最後に、この物語の後、ナヴェイア/ヴィク/クエンティン/マーラには、

(なって欲しい) と思いました/想像しました/望みました。